

35歳

お試し浮気

ふたなり巨根で
アクメ離婚するまでの
記録





あ…
今日も更新されてる

17:35

1件のDM

ドキッ



優しい旦那と
子供に恵まれて

マイホームに住み
今は仕事を辞め専業主婦



す…すごい
こんな量毎日射精してるの？

ドキッ

小山美紀(35歳)
結婚10年目



順風満帆

そんな言葉が
似合う生活を送っていました

何不自由ない
生活でしたが

私の中にはふつつつと
不満が湧いていました

なんて退屈な
日々なんだろう

優しくて不自由ない
生活をさせてくれる夫

手がかからなくて
かわいい息子

それだけでは
私は満足できず

日々悶々と
していました

性生活はすでになく
刺激を求める身体を持て余し

大量のアダルトグッズを
買い込む毎日

別の穴の開発も
飽きてしまいました

自分から慰める
日常からの解放



自由と家庭の狭間で
私は何もできずにいました

そんなとき私に
来た1通のDM

MIKI

@123234345667

♪お願いします♪

普段は見ないのにその時は
興味が湧いて開いてしまいました

は県外におでかけです

そこには私の写真に
精液をぶっかける



なにこれ…

夫の数倍は大きいであろう
男根が映っていました

馬並みの射精量と
汚された私

夫より大きな
隆起したイチモツ

白濁した
濃厚なザーメン

私はそのアカウントに
夢中になりました

彼女はフォロワー0人の
アカウント

日常から私を引き上げる蜘蛛の糸
のように感じたのでしよう

ただ淡々とぶっかけをアップ
しているだけのアカウントでした

ぶっかけさん

8431241241

ぶっかけさん

ようのぶっかけです

メディア欄の
ぶっかけやオナニー動画

雄々しい射精を
見るたびに

私の指は止まらず
秘部をただただ

ひたすら慰めていました

そしてある日私と夫は
些細なことで言い争いを
してしまいました

今までの生活で鬱憤が
たまっていたのでしよう

私はその鬱憤を
晴らすように

1
あのアカウントにDMを
送ってしまったのです



私はここで初めて相手が
ふたなりだと知りまし

興奮してこんなになっちゃいました…

あの、いつもなんなんですか？
迷惑なのでその画像送ってこないでく
ださい
通報しますよ？

あ…返信くるだなんて驚きました…

初めは相手に注意だけ
するつもりでした

急に裸の写真送ってこないで
気持ち悪い

彼女はもうDM
しないと言
いました

私はそれだけでは
物足りません

あ…ごめんなさい
調子乗っちゃいました…

もう送れません、本当にごめんな

もう何も送らないので許してください

ちょっと待ってください
本当にそれだけで済むと思っているん
ですか？
誠意が足りないと思います



男より精力が強く性器が
大きいとされているふたなり

興奮してこんなになっちゃいました…

急に裸の写真送ってこないでください
気持ち悪い
私は興味を抑えられ
ません

あ調
さい
いました…

直接会ってその場で
アカウント削除

そんな口実を私は
思いついたのです

相手は驚きつつも了承
そして

ちょっと待ってください
本当にそれだけで済むと思っ
てですか？
誠意が足りないと思います

ことでいいんで

私の気持ちを知
りか知らずか

近くにあるとこ
いいますか？

え…それっ
すよね…

2人きりで会える場所を
選んできました

じろ

隣の
ラブホテルでした

私は…

拒みません
でした

その後私はいつもより
長時間自慰にふけりました

夫に内緒でオスと
密会する背徳感のためか

それともそんな考えを持つ
自分を忘れるためか

私は激しく双穴を耕した
のかもしれません

♡HOTEL

郊外のラブホテル

私たちくらいしか
利用者がいないホテルに

当日私は
夫と子供に内緒で

待ち合わせ場所に
向かいました

ヶ谷
gaya

トキ...

はじめまして...

気弱そうな
雰囲気と相反して

服の上から
分かるくらい
の巨根に
私は目が
離せません
でした

は
はじめまして...

彼女は
いました

69

二、三言挨拶を交わして
私たちはソファに座りました

気まずい沈黙

私がどう切り出そうか
思案していたときでした

彼女が

おずおずと

遠慮しながら

私に近づき

あまりにも自然に

んっ…

私の唇を奪いました

私はもちろん
抵抗していたと思います

ん

でもほんの
数秒だけでした

ふ

夫とは
違うキスに私は

は

♡

♡

何もできず
ただ惚けていました

そして
キスが終わったところ
には私はもう

びん

は

は

一人のただのメスに
なっていました

ニキ

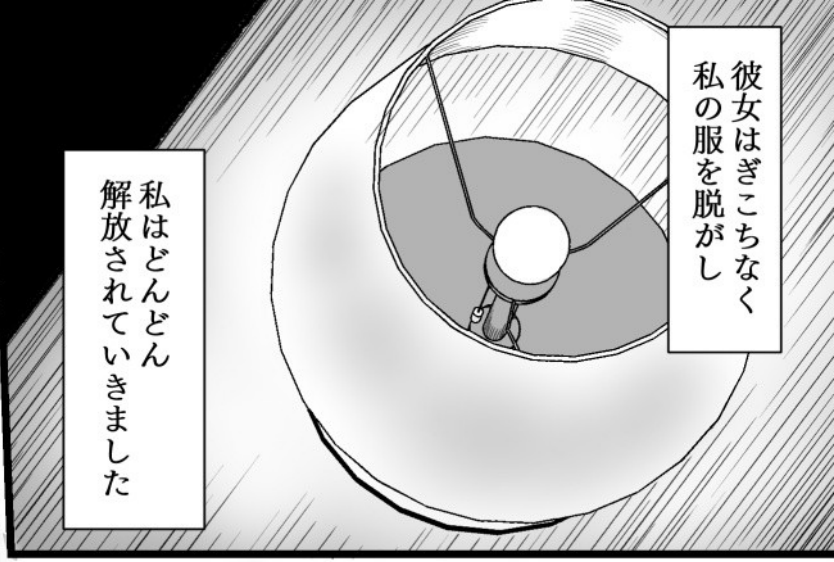
ニキ



私の秘所が
露わになりました

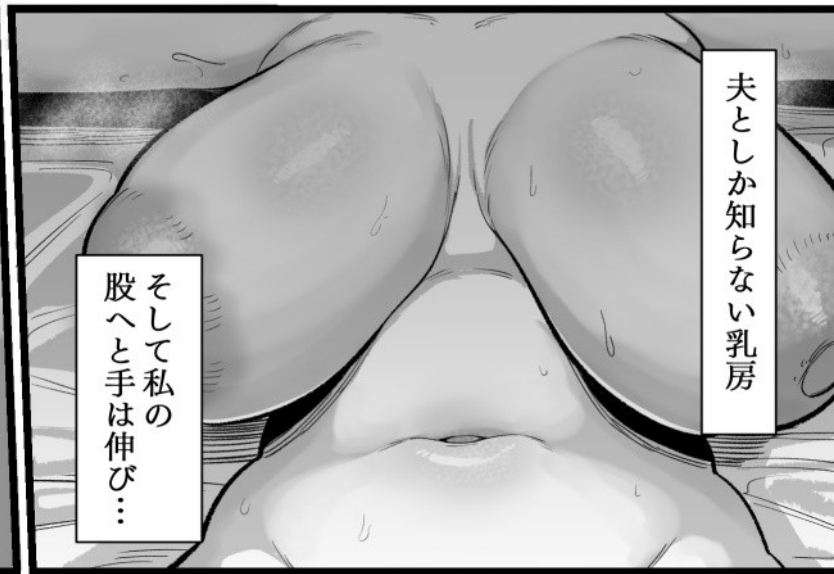
むせかえるメスの
臭いが部屋中に拡がり

むせかえるメスの
臭いが部屋中に拡がり



彼女はぎこちなく
私の服を脱がし

私はどんどん
解放されていきました



夫としか知らない乳房

そして私の
股へと手は伸び...



彼女が私の股に
顔を近づけます

私の割れ目は期待で
濡れそぼっていました



お互いの鼓動と
男根の脈打つ音が

どくどくと
聞こえる気がしました



彼女の舌先が触れただけで

そして

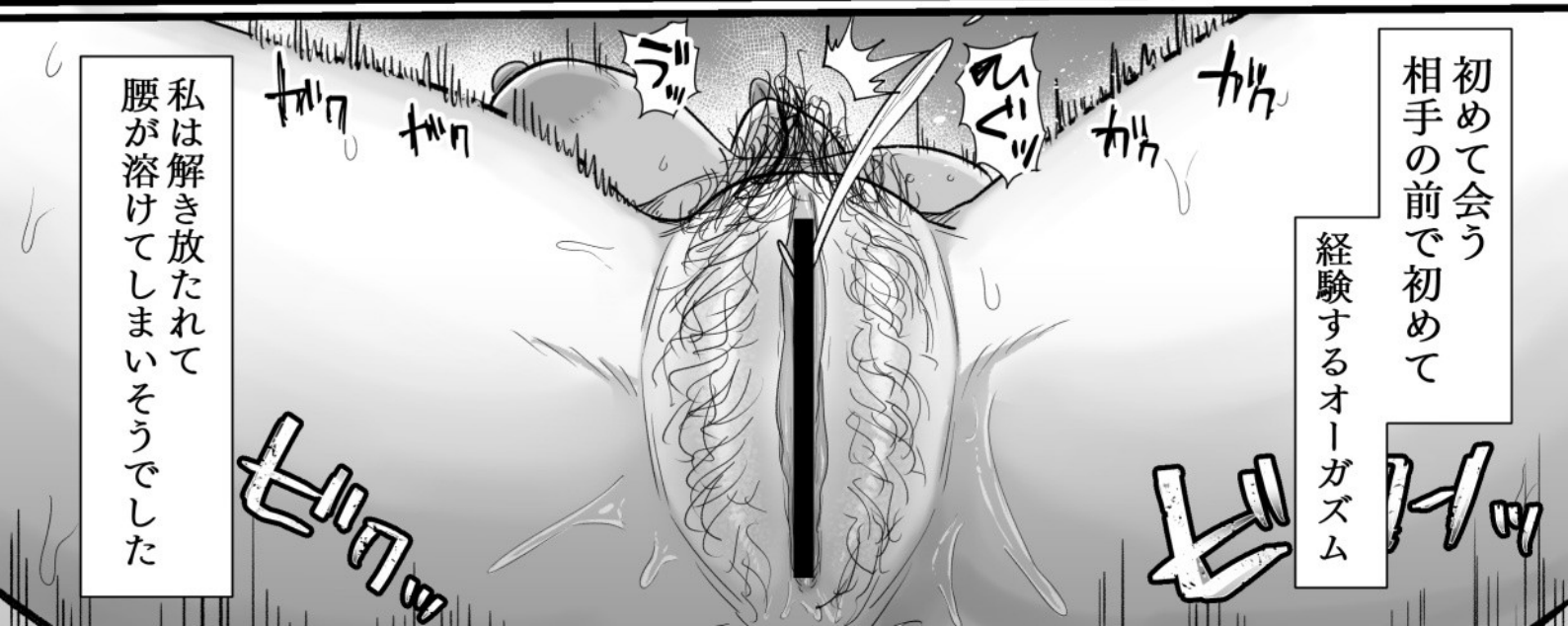
お...お...お...
お...お...お...



イブッ

お...お...お...
お...お...お...

私は獣のように激しく達しました



初めて会う相手の前で初めて

経験するオーガズム

私は解き放たれて腰が溶けてしまいましたが

ガッガッ

ガッガッ

私が
とろけていると

まろんっ

彼女が求めるように
男根を差し出してきました

むせ返るオスの臭い

油っぽい包皮…

走る血管と
黒光りする龟头

私は我慢できず
むしゃぶりつきました

かきッ

おろろ

夫以外のちんぽの味
少し苦しよっぱい味でした

んっ

んっ

彼女を
気持ちよくする

んふい

そんな考えのない
自分勝手なフェラ

自分のものだと
誇示するための

独善的なフェラで
私はまた達しました

快樂に震えていると
彼女が

私に被さりました

唾液で濡れた
おちんぼが光り

ぬらぬらと私を
めがけて勃起していました

私は抵抗します

ななかだけは
ダメです…

話し合いに来たはず
ですよ…?

こんなの間違ってます
レイプですよ…

私には夫と
子供がいるん

心にもない言葉
でした

そして相手も
分かっていました

こんなのただの
建前にしかすぎないと

彼女は黙って
おちんぼをあてがい

私のささやかな抵抗は
終わりました

そして 夫以外の
でかちんをすんなりと

ほおおお
おおんっ♡

でっか...♡
一気に奥まできた...

奥まで飲み込みました



夫が
未到達の奥へ

何度も

何度も

何度も

何度も



私は挿入されて余裕が
ありませんでしたが

でっか〜ニンなニッ
ちんぽがっ♡

彼女にはそんなこと
関係ありません



凶悪な巨根を
叩きつけられて

おお??

??

またイブ♡

そのたびに私は
絶頂しました

ま〜ま〜??



言葉では
抵抗しているものの

射精しちゃらめえっ
夫がいるのっ

中はだめっ

もはや彼女の前では
無意味です



私の脚は自然と
彼女に絡みつきました

おき
おき

おん
おん

おん
おん

おん
おん

おん
おん

おん
おん



ひたすら射精すること
だけを考えた彼女は

射精

射精

射精

射精

激しいっ

ダメえっ

自分勝手なピストンと
貪るようなキスで
快楽を求めます

そして
一瞬の静寂の後

あっ…

吐精

射精るっ♡

おまおま

絶頂

射精

夫だけの子宮に
彼女が注ぎ込まれました

ダメっ♡
イブっ♡

おまおま



私の女を
蹂躪しました

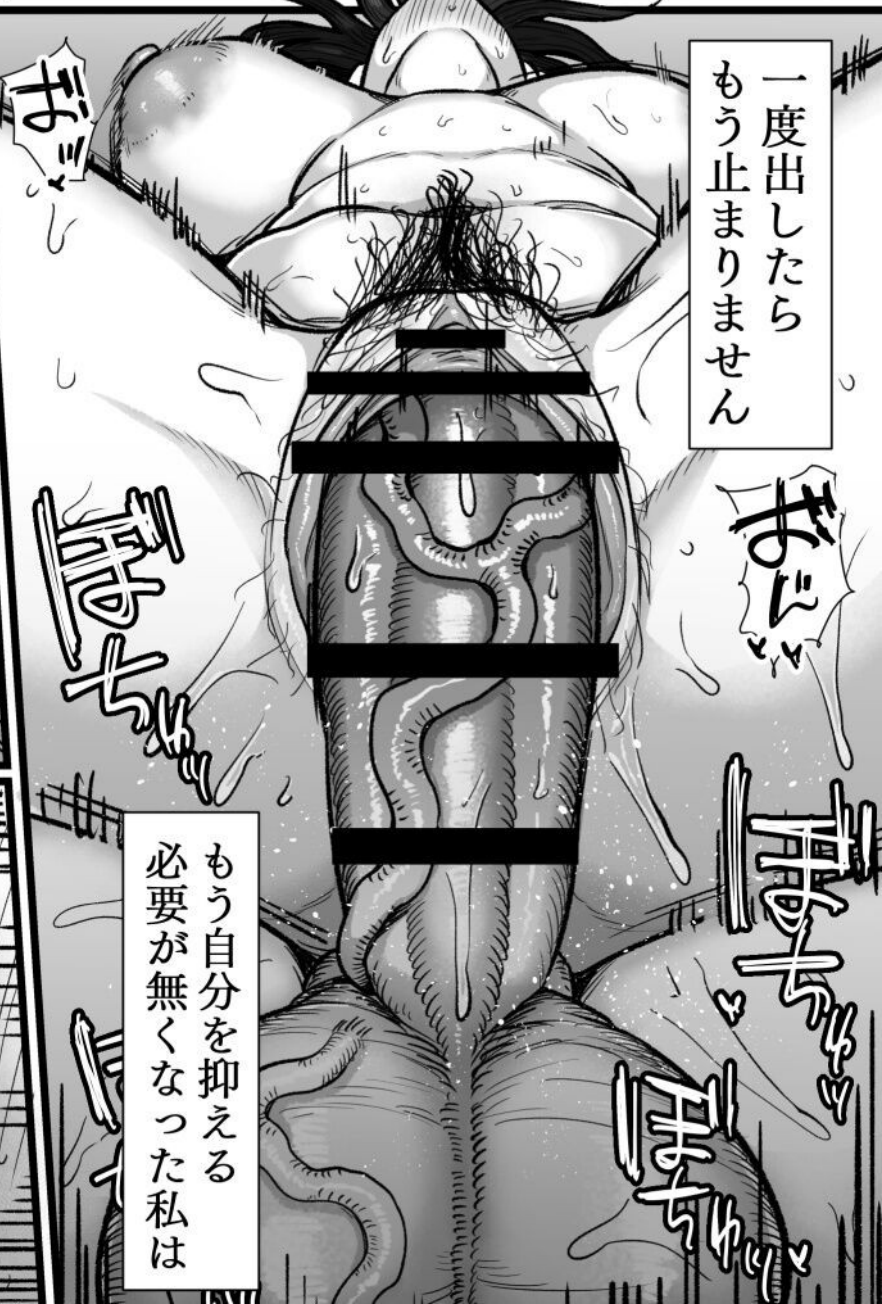


夫をザーメンで
塗りつぶしたちんぽは

私の中で
どくどくと呼吸をして



彼女を
ひたすら求めました



一度出したら
もう止まりません

もう自分を抑える
必要が無くなった私は





最後に射精された頃には

ズンズン

おーおー



顔が隠れるくらい
ザーメンを浴び

すまー
ズンズン

身体中に精液の
臭いを染み込ませ

は

ズンズン



もうとつくに
夜が明けていました

ズンズン

おーおー

ズンズン

ズンズン

ズンズン

私は腰が砕け
快楽で起き上がれず

昼まで家に
帰れませんでした

帰ったあとは夫への
言い訳に苦労しました

ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ

疑っていましたが何とか
言いくるめれたと思います

その日私は
夫を誘いました

ドキ
ドキ

自分の罪悪感を
消したかったからです

でも夫は私を受け入れて
くれませんでした

「今日は疲れた」
「明日早いから」

ありきたりな
言い訳です

私はこっさり
ベッドを抜け出して

なごぞよ

昨日のことを思い出して
自慰にふけりました

もうあの巨根を
忘れられない

物足りないデイルドに
尻を打ち付けながら

私は彼女を
思い出していました

どきどき
どきどき
どきどき
どきどき

その日から私と夫の
会話は減っていきました

そして私は一層あのちんぽに
ハマっていきました

会えない日は私の痴態を
彼女は求めてきました

体毛の処理も
禁止されました

旦那にバレないように
下品な恰好を晒したり

夫にも息子にも
絶対に

こんなに下品に
なった自分…

今日も写真撮りました♡
これで抜けますか？

いです♡
ので待っててください♡

絶対に
見せられません…



そして会う頻度は
どんどん増えていき

ちんぽぽぽぽぽ
ちんぽぽぽぽ

ちんぽぽぽぽ

ちんぽぽぽぽ
もつとハマてえ

ちんぽぽぽぽ
ちんぽぽぽぽ

私はどんどん彼女好みに
なっていました

どんな下品なことも
スケベなこと

ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ
ちんぽ

彼女とちんぽのため
ならなんでもできました

ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ
ちんぽ
ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ
ちんぽ

あの頃の良い
母親だった私は



おっす...

おっす

今ではただのスケベな
メスになりました



そんなある日一つの
小包が届きました

ありがとう
ございました

それは大量のザーメンが
入ったシリンジと

肉便器へ

ザーメンまみれの
下着とマスクでした♡



おっす



アナルとまんこに
ザーメン注射…



どつぷりと重たい
ザーメンマスク

オス汁きく…♡

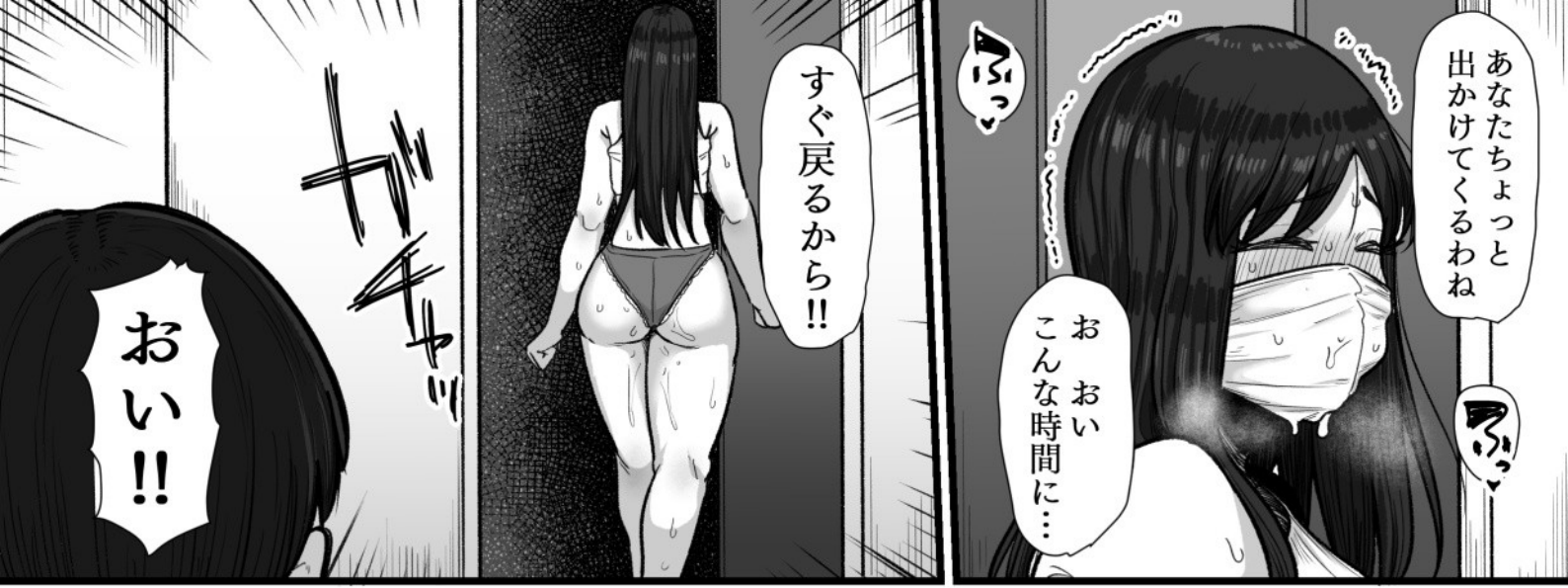


家にいるのに
母ではない

ザーメンまみれの
メスの完成です

これでいつまで
耐えられるのでしょうか

栓をしてパンツを履けば



今日も家族を置いて
まんこハメに来た

35歳の
変態おばさんです

淫乱おまんこに
特濃ザーメン
ぶちこんでください

おまんこ
してください

土下座ちん媚びも
板についてきましたね

ちんぽしか考えられない
奥さん大好きですよ

女としての尊厳は
もうありませんでした

ちんぽが
いっぱい
入ってる

ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ

ちんぽが
いっぱい
入ってる

上出来ですね

変態人妻らしい
姿です

ザーメン♡

ザーメン♡

私もあなたの無様な姿で
準備ができました

ほら

しゃぶれ

しゃぶるんっ

はひっ

しゃぶらせて
いただきますっ♡

羨のなつてない
メス犬の様な姿

もしかしたらこれが
私の本来の姿
なのかもしれません

解放された私
自由な私



下品でザーメンを
欲しがる私

そんな私を
見つけてくれた彼女は



ヤバっ♡
でっ



今や家族より大切な
存在になりました





ザーメンくっつく
特濃ザー汁が

脳みそ直撃
射精キタ



ほしかったです

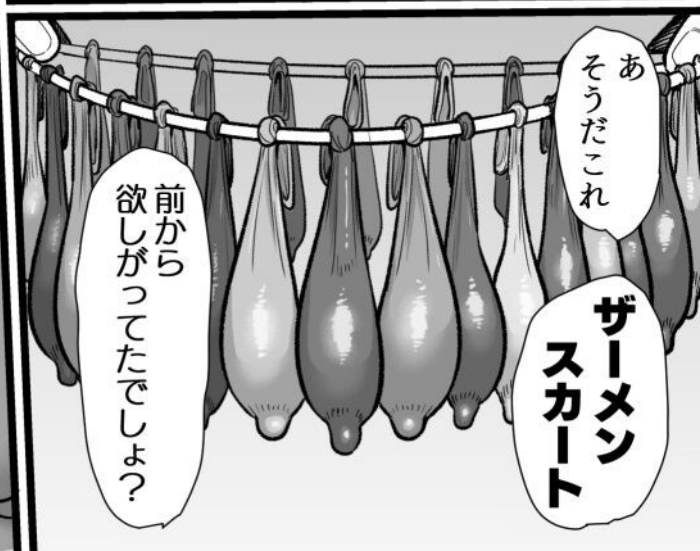
うんがと
ニギ、こまじ

私一生懸命
踊りますが



馬鹿みたいに
アクメして

可愛く
なりましたね



あ
そうだこれ

ザーメン
スカート

前から
欲しがってたでしょ?



恋態人妻を
慰めて♡

ハメて♡
ハメて♡

おまんこハメて♡

下品な踊りだつて
何だつてします



ちんぽっ♡
ちんぽっ♡

今の私には
どんなものよりも
嬉しいプレゼントでした

まんこ
寂しいのぉ♡

おちんぽ
恵んでください♡



ザーメン
ください♡

理性ある私は
もういなくなりました



私の好きな人
好きなデカちゃんぽ♡

夫よりセックスが
うまい巨根マラ♡



分かりました
ハメてあげましょう

ちんぽ

ちんぽ

でも今日は

朝まで帰さないから
覚悟してくださいね



くもっ
くもっ
ちんぽっ

ちんぽっ
ちんぽっ
ちんぽっ

ちんぽっ



ちんぽ
ちんぽ
ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ
まためっ



今や夫は 彼女と私の間に
割って入る邪魔者でした



もう私は家族のことを
忘れていました



ちんぽで頭いっぱいな私は
気づくはずがありません

夫からは何度も
着信が来ていましたが



彼女との行為の数は
夫との情事の何倍にもなり

後ろの穴の処女も彼女に
捧げていました

汚い声も汚い音も
なにもかも

夫には
聴かせてやりません



夫とはしない
体位も彼女となら

いくらだって
やります



夫とは離婚する

好き

好き

大好き

愛してる

決心はついて
いませんでしたが

今日 たった今
心が決まりました

私は彼女と添い遂げる

好き

大好き

彼女のちんぽがないと
生きていけない

おおおお
おおおお

もうそれしか
考えられませんでした



07:50

子宮
つぶれらっ♡

深に
深にっ♡



おっぱい
おっぱい

イギ死ね
変態妻♡



搾り切り
ザーメンだすっ♡

奥さんっ♡
出すぞっ♡



出してっ♡
思っ♡

全部
出してっ♡



バカバカバカ
逝っブ〜

豚になるっ〜
頭とけるっ〜

ズン
ズン
ズン

バカバカバカ

ズン
ズン
ズン

ドク

ドク

ドク

イッてから20分近く気を
失い私は目覚めました

頭は朦朧とし
身体はだらしなく
精液を垂れ流しています

彼女に
お掃除フェラをして

ザーメンを搾り切ってから
私は家へ戻りました

ザーメンマスクを
また着けて…

身体は洗わず
そして…

帰ったら夫が
待っていました

私がホテルへ入っていく
写真を用意して…

どうやら探偵を
雇っていたみたいです

裏でやることは
やっていたんですね

まあ関係ありません

だって私が言うことは
1つなんだから

ねえ
あなた

私たちが離婚しない？



サークル：えびのインプラント

Twitter

